

一人一人の個性の開花

～自ら学び ともに磨き合い、自らを生かす～

県・市教育方針

〈義務教育課取組の方向〉
「子どもたちの『生きる力』を育む教育の充実」

「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して

- 1 「熊本の学び」の推進
- 2 英語教育の充実
- 3 道徳教育の充実
- 4 就学前教育の充実
- 5 環境教育及び

キャリア教育の推進

〈山鹿市学校教育指導の重点〉

日本一の学園都市「やまが」を目指したさらなる校務改革、授業改革、中学校の学園化の推進

〈指導の重点〉

- 1 「命」を輝かせる教育
- 2 「志」を育てる教育
- 3 「生き抜く力」を育む教育

「せせらぎの人」から「清流の人」へ

山あいの町、鹿北を流れる清流の一滴が、やがては大河となり、ついに大海原へと至る。清流の一滴である鹿北の子どもたち一人一人には、たくさんの可能性が秘められている。その可能性の扉を自ら開き、生かしていく力をつけていく。

校訓

己を重んじ
己を伸ばす
友を敬し
友に学ぶ

目指す学校像

鹿北で学んだすべての児童・生徒は、社会で自立して生きていく力を身に付け、幸せを勝ち取る生き方を身に付けることができる。そんな学校が鹿北中学校である。

職員の意識改革

子どもたちの頑張りがわかる、喜びや悩みを共有し、責任転嫁しない、あきらめない教職員
一人一人が魅力ある生き方ができる教職員
指導の基本は「納得」、納得の連続が「信頼」。徹底して納得できる指導に努める教職員

研究目標

自分の考えを深め、表現できる生徒の育成
～考えることを基軸とし、考えたことを表現する言語活動の工夫を通して～

社会人基礎力の育成

【前に踏み出す力】主体性・働きかけ力・実行力

【考え抜く力】課題発見力・計画力・創造力

【チームで働く力】発進力・傾聴力・柔軟性・状況判断力・規律性

【生活するための力】基礎知識・基礎体力・学ぶ意欲・耐性

学習指導要領に示された資質・能力の育成

○知識・技能の習得 ○思考力・判断力・表現力の等の育成 ○学びに向かう力・人間性等

「生きる力」の基礎基本

- 明確な目標設定と挑戦力
- 生徒会活動による課題解決力
- 話し合い活動による実践力
- 部活動による本当の感動体験

「生きる力」の広がり

- なかまとの切磋琢磨・本当のつながり
- 遠隔交流による出会いと働きかけ力
- 異文化・異年齢交流による自己の生き方・考え方の拡張力

「生きる力」のつながり

- 行事参加と地域の一員としての自覚
- かほくサポーター会議参加による企画力・計画力・発信力、やり遂げ力
- 保小との連携による主体性・リーダー性

「生きる力」の高まり

- 学ぶ意欲醸成による学力向上
- 効果的家庭学習による学力向上
- 自主的な体力づくりと耐性強化
- 学習指導要領に示された資質能力獲得

インクルーシブ教育システム構築

- 基礎的環境整備・・・様々な居場所の設定（適応指導教室・サポート教室等）
- 合理的配慮・・・教室設営の工夫・言語と視覚による伝達等
- 個別支援の充実・・・自立活動・移行支援・ストラテジーシート・鹿北版UD化チェックリスト
- 連携強化・・・家庭との連携・すまいる連絡会・関係機関との連携